

まごめ園

令和2年度事業計画

1. 運営方針

- ① 地域社会に開かれた施設づくり
- ② 自立した豊かな地域生活の基盤づくり
- ③ 社会参加活動の拡充

2. 職員等配置計画

職員 21 名（兼務 3 名、就労継続支援 B 型 7 名、生活介護 11 名）・非常勤職員 7 名（就労継続支援 B 型 4 名、生活介護 3 名）・嘱託医 2 名 合計 30 名

3. 今年度の重点目標

法人重点推進事項		(1) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護） (5) 既存事業の機能強化	取組時期
1	一人一人が力を発揮できる環境の提供	内容 ・生産活動と販売機会の充実に向けた取り組み ・高齢化・重度化による多様なニーズへの対応 ・生活介護、就労継続支援 B 型機能の相互活用 ・利用者の主体性を尊重した支援	通年
法人重点推進事項		(3) 活力ある組織・経営基盤づくり (4) 地域公益活動の推進	
2	地域貢献と社会参加の取組み強化	内容 ・第 27 回まごめ幸陽祭の開催（実行委員会形式） ・地域イベント等への参加・協力、地域交流を通じた社会参加の機会 ・地域への設備・物品貸出し ・施設公開 ・ボランティア、実習生の積極的な受け入れ	9/27(日) 年 7 回 随時 通年
法人重点推進事項		(3) 活力ある組織・経営基盤づくり (5) 既存事業の機能強化	
3	関係機関との連携強化	内容 ・相談支援、地域生活支援、介護事業等との連携 ・利用者の主体性を尊重した多様なニーズへの対応 ・地域力推進馬込地区委員会、地域防災会議等への参加	随時 通年 定例
法人重点推進事項		(1) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護） (2) 福祉人材の確保・育成・定着	
4	専門性の向上	内容 ・内部研修の定期開催 ・計画的な外部研修受講 ・OJT 推進	年 10 回 計画実施 通年

4, 利用者受入等・年間作業売上金の分配

在籍	67名 就労継続支援B型 41名 生活介護 26名	新規利用者	2名 就労継続支援B型 1名 生活介護 1名	定員	62名 就労継続支援B型 37名 生活介護 25名
年間開所日数	238日	利用率目標(在籍)	86.0%(昨年度比 2.0%アップ)		
目標平均工賃(B型)	20,190円	前年度上期平均工賃(B型)	18,516円		

5, 年間行事計画(詳細別紙)

4月	入所式	10月	しょうがい者の日のつどい 宿泊訓練(生活介護)
5月		11月	宿泊訓練(就労継続支援B型)
6月	地域合同防災訓練	12月	忘年会
7月		1月	成人を祝う会
8月	納涼会	2月	
9月	第27回まごめ幸陽祭	3月	納会

※ 外出訓練(各事業 年1回)

6, 虐待防止・権利擁護の取り組み

※平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み
「虐待防止に向けた体制づくりと組織の取り組み・仕組み等の活性化」

	実施項目	具体的取組
1	虐待防止 権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> ※ 徹底した現場主義に基づく事例検討の実施 ※ 「法人サービス利用者の権利擁護規程」「社会福祉法人大田幸陽会サービス提供ガイドライン」等を踏まえた支援 ※ 「虐待防止対応要綱」に基づく法人および事業所虐待防止・人権委員会の取り組みの推進
2	苦情解決	「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて適切に対応
3	個人情報保護	「個人情報保護規程」および「特定個人情報規程」に基づいて適切に対応

7, 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修計画(*事業所計画)

目的: ライフステージに合わせた質の高いサービス提供。

※平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み
「専門性に基づく支援のスーパーバイザー育成」

	実施項目	具体的取組
1	OJT・職場内研修	虐待防止・権利擁護に関する研修、法令遵守関係(就業規則・サービス提供ガイドライン等)、障害特性・支援技術に関する研修、防災・応急救護に関する研修、感染症対策・衛生に関する研修、働き方改革関連、法人共通ガイドラインに沿った新任職員OJTと

		面談の実施
2	外部研修	障害特性・専門性向上に関する研修、東社協キャリアパス対応生涯研修課程、人権研修、サービス管理責任者、強度行動障害者支援関係の研修 *その他、職員希望に沿った受講促進
3	自己研鑽支援	資格取得奨励制度の周知・奨励、自己研鑽に関する情報提供および関連図書の貸出し等

8, 地域公益活動の推進

	実施項目	具体的内容
1	第 27 回まごめ幸陽祭の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・9/27（日）開催 ・地域町会、関係機関で組織した実行委員会形式で実施 ・地域住民参加型の開催により交流の場とする
2	地域への設備・物品貸出し	<ul style="list-style-type: none"> ・物品貸出リストの公開 ・地域への貸出し実施
3	ボランティア受け入れ強化	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なボランティア受け入れにより、地域住民の活躍の場を広げる ・中間的就労ボランティアの受け入れとして、はたらくサポートとうきょう「はたらく場登録情報」に継続登録

9, 地域・関係機関連携

	実施項目	具体的内容
1	相談支援、地域生活支援、介護事業等との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化・重度化による多様なニーズへの対応とファミリーサポート（アウトリーチ含む） ・関係者会議、ネットワークへの参加
2	地域との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント等への参加・協力・出店 ・地域力推進馬込地区委員会、地域防災会議等への参加 ・近隣小学校交流
3	福祉人材受入	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助実習、人事院研修、介護等体験の受入れ
4	広報活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新 ・広報紙年3回発行

10, 法令遵守に関する取り組み

*平成 31 年 3 月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「経験職員等の多様な人材を活かしあう事業所づくり」

	実施項目	具体的取組
1	法令遵守	法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規程等に基づき適切に対応

2	「働きやすい職場」づくり	「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」の継続した取り組み推進及び、「働き方改革」に対応した法人の取り組みとの連携
---	--------------	---

1 1, 危機管理計画

	実施項目	具体的取組
1	事業継続 (BCP)	・事業継続 (BCP) に関する事項の見直し・整備
2	防災関連	・定期防災訓練 ・地域合同防災訓練に参加
3	緊急時対応	・「緊急時対応マニュアル」による対応 ・応急救護、防犯に関する訓練の実施

1 2, その他

令和元年度に受審した福祉サービス第三者評価を踏まえた改善計画に基づき、サービス向上に向けた取り組みの実施

- * 利用者一人一人が力を発揮しうる環境を維持していく。
- * 地域との連携・地域への貢献を積み重ねていく。
- * 商品の提供のあり方を検討していく。